



IDF PRESS RELEASE

Brussels, 17 September 2018

IDFプレスリリース

2018年9月17日、ブリュッセル発

経済成長と生物学的多様性を促すために酪農乳業の持続可能性を高める Enhancing sustainable dairy to promote economic growth and biodiversity

2018年10月15-19日に、韓国はテジョンで開催予定のIDFワールドデーリーサミット2018テジョンに参加する者は、ネスレー社の Michel Donat 氏の講演を聴講する機会が与えられる。10月17日、経済的な観点から持続可能な酪農乳業に焦点を当てた環境特別講演会において、バイヤーの視点で持続可能性をプレゼンテーションする予定である。

「乳製品のお客様は、持続可能ではない方法で生産された乳および乳製品を購入するリスクを減らしたいと欲しています。乳製品の持続可能性レベルを、事実と数字によって説明していただくことを生産者に求めています。」と Donat 氏は説明した。

「本題の目的は、サプライヤーを含むバリューチェーン全体で持続可能性を連続的に改善し、この分野で進捗を監視できる成績指標などの主な判断基準を定めることです。」と附言した。

同じセッションで、Ernesto Reyes 氏は、持続可能な畜産業について地球規模の取組から、社会の発展を目指す畜産業の「アクションネットワーク」の活動をプレゼンテーションする予定である。このアクションネットワークは最近、「貧困の削減に与える酪農開発の効果」と題した報告書を発行した。

「酪農の開発は、家庭のレベルと村落のレベルの両面で貧困の削減に多大な貢献をしています。」と Reyes 氏は語った。「デーリーバリューチェーンの研究から集乳と配乳が

直接的にも間接的にも相当の雇用を生み出したことが分かりました。またその一方で、加工と市販事業による雇用の創出は、それが市乳であれ、乳製品であれ最も有力な製品タイプに依存しています。」

フリースランドカンピナ社の **Jaap Petraeus** 氏は、乳の持続可能性における生物学的多様性の重要な役割を説明する予定である。

「農耕地での高度な生物学的多様性が作物の収率を増やしますが、品種の多様性は耕作システムの均衡を維持し、外部費用を減らします。」と **Petraeus** 氏は語った。

オランダの酪農協フリースランドカンピナ社は、世界自然保護基金とラボバンクとの協同で「生物学的多様性モニター**The Biodiversity Monitor**」を開発し、農地の生物学的多様性の測定と改善の点から酪農家を支援している。**The Biodiversity Monitor** は、**IDF** 生物学的多様性ガイドライン **IDF Biodiversity Guideline**、自然資本プロトコール **the Natural Capital Protocol** および **FAO・LEAP** 生物学的多様性アプローチ **Biodiversity Approach** と軌を一にしている。

デンマークはアーラフーズ **Arla Foods** の **Anna Flysjö** 氏は、炭素隔離プロジェクトをプレゼンテーションする予定。

「酪農業は農場レベルで炭素隔離の測定方法に関するガイドラインの合意と開発を進めるプロジェクトを開始しました。開発された手法が適切で科学事実に基づくことが重要です。また時間経過で改善を追視できる手堅さとカーボンフットプリントガイドラインと評価ツールとの統合が可能な点が重要です。」と **Flysjö** 氏は述べた。

排水処理技術などの持続可能な農場規範も討議される予定である。

講演者がプレゼンテーションする話題が、酪農乳業の持続可能性におけるチャレンジとオポチュニティについて考える材料を提供してくれる。この点についてキャロライン・エモンド **IDF** 事務総長は、酪農乳業界で幅広い人脈をつくる予定である。

「持続可能性の社会的な側面から経済的な側面まで、環境的な側面から栄養面まで多面的な視点になります。世界中の思考を集めれば議論が深まるし、望むらくは革新的な解決法が生まれ、生物学的多様性を守りながら世界の食糧生産に貢献する酪農乳業が強化されます。」とエモンド氏は述べた。

IDFワールドデーリーサミット2018セッションの詳細は[IDFウェブサイト](#)から入手できる。

完

翻訳：JIDF事務局

编者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。